

## PRESS RELEASE

2022年6月15日

株式会社インターネットイニシアティブ

### 広帯域で柔軟なクラウド接続を実現する新たなネットワークサービス 「IIJプライベートバックボーンサービス/Smart HUB」を提供開始

-- 新ネットワークサービス基盤でオンプレミスと各種クラウド間を直接接続。  
クラウドごとに接続帯域を自由に配分可能 --

当社は、お客様ネットワークと各種クラウドサービス間を広帯域で接続し、クラウドの利用状況に応じて柔軟に接続帯域のコントロールを実現する「IIJ プライベートバックボーンサービス/Smart HUB(スマートハブ、以下 Smart HUB)」を、2022年6月30日より提供開始いたします。本サービスでは、各種クラウドサービスとの接続帯域を、あらかじめプールされた契約帯域からお客様側で自在に割り当てることが可能で、トラフィック量に応じた接続環境を最適なコストで確保でき、マルチクラウド活用時の利便性を大幅に向上します。

デジタルトランスフォーメーション(DX)推進や働き方改革、また、新型コロナウイルス感染症拡大を背景に、国内企業では自宅やサテライトオフィスなど、会社以外でも場所を問わずに仕事ができる業務環境の整備が進んでいます。こうしたなか、多くの業務システムで自社ネットワーク環境(オンプレミス)からクラウドサービスへの移行が進んだことにより、増大するクラウド接続のトラフィック量への対処、通信の安定性の確保、また、クラウド利用量の変動や複数のクラウドサービスの使い分けに対応可能な柔軟なネットワーク環境が求められています。

そこで IIJ では、増え続ける各種クラウドサービスへのトラフィックに柔軟に対応し、広帯域でのマルチクラウド接続に最適なネットワークサービス「Smart HUB」を提供いたします。

今回のサービス提供にあたっては、シスコシステムズ合同会社のデータセンター向け SDN ソリューション「Cisco ACI(Application Centric Infrastructure)」、ジュニパーネットワークス株式会社の「vSRX 仮想ファイアウォール」を採用し、両社協力のもと、新たに広帯域接続に特化した新基盤を開発し、10Gbpsを超える広帯域・大容量接続も可能としています。

#### ■IIJ プライベートバックボーンサービス/Smart HUB 特徴

##### オンプレミスとクラウドの直結により大容量で安定した通信を実現

オンプレミスとクラウドサービスを直接接続する新たなネットワークインフラの提供により、各種クラウドサービス(Microsoft Azure、AWS、Microsoft365)と、広帯域かつ安定した接続が可能です。また、本サービスは IIJ のバックボーン上にお客様専用のネットワークを構築する「IIJ プライベートバックボーンサービス」と接続しており、セキュアなネットワークを介して IIJ のデジタルワークプレイス関連サービスと連携することが可能です。

##### 各クラウドの接続に必要な帯域を自由に割り当て可能

クラウドごとの接続帯域ではなく、すべてのクラウド全体に必要な帯域を「帯域プール」(最大 100Gbps)として契約する形態のため、お客様は「帯域プール」から必要な帯域を必要な時に各クラウドサービスへ割り当てることが可能になり、マルチクラウド活用時の利便性が大幅に向上します。

また、本サービスでは専用のコントロールパネルを用意しており、帯域割当てやファイアウォール設定などの変更がオンデマンドに行えます。小規模に導入した後、徐々に帯域を増やしたり、急遽必要/不要になったトラフィックにあわせて、自由に帯域を変動させるなど、柔軟なネットワークコントロールを実現できます。

専門ノウハウを必要とするクラウド接続運用をお客様に代わって吸収したマネージドサービス  
各クラウドとの直接接続においては、クラウド事業者がそれぞれの技術的仕様や運用方針に基づき接続環境のアップデートを日々実施しているため、利用者側で事業者ごとに異なる様々な変更に従ったり、課題・トラブルへの対処が必要になります。本サービスはマネージドで提供するため、急な仕様変更への対応など突発的な問題にも、これまで培ったインターネット運用の技術やクラウド接続の知見をもとにお客様に代わって対処し、高品質で安定したクラウド接続環境を継続して提供します。

■提供機能

・基本品目

帯域プール	各ポートに割り当てた帯域に応じて課金されます
リージョン	東日本または西日本(※)でサービス設備の所在地は選択可能

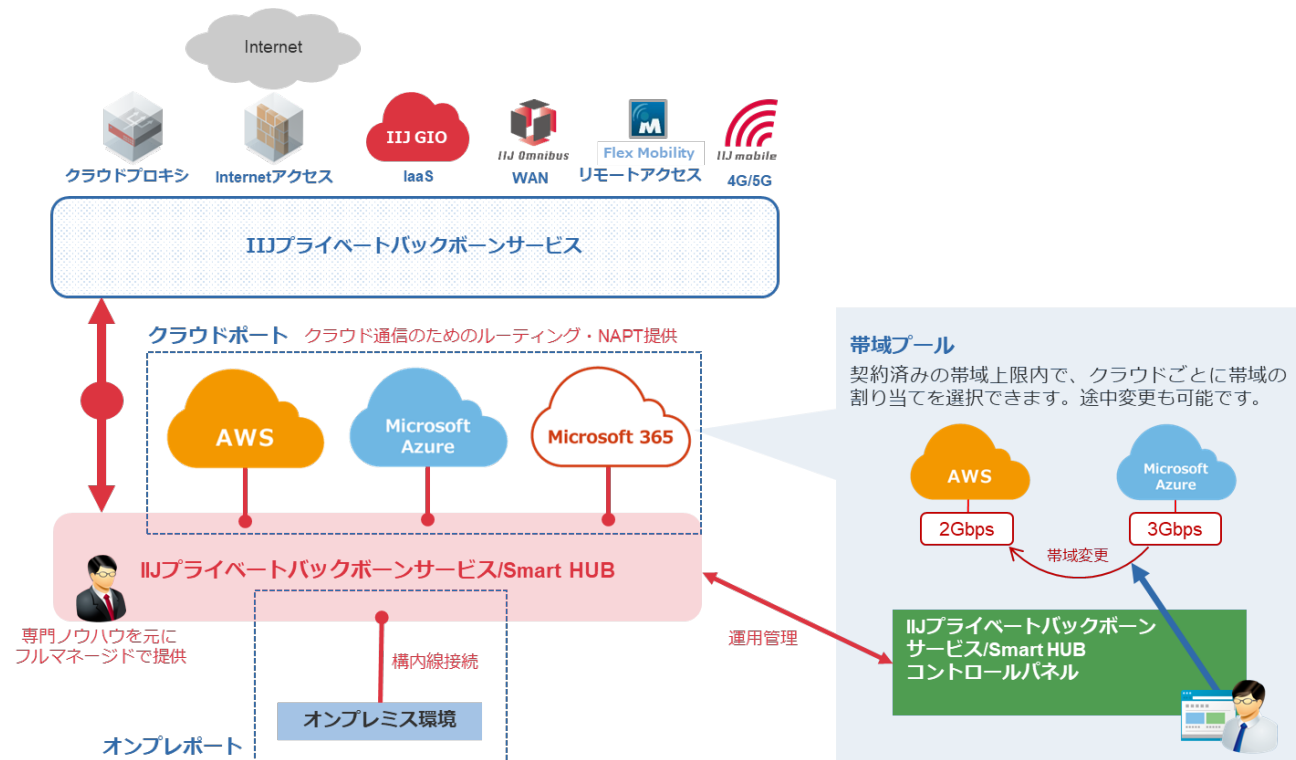
※西日本リージョンは 2022 年 10 月提供予定

・追加品目

オンプレミス接続ポート(構内回線接続)	IIJ データセンター内にてお客様拠点に対する接続機能	
クラウド接続 ポート	タイプ A:プライベート	AWS Direct Connect に対する接続機能
	タイプ A:パブリック(※)	
	タイプ M:プライベート	Microsoft Azure ExpressRoute に対する接続機能
	タイプ M:パブリック(※)	
	タイプ M2:パブリック(※)	Microsoft Azure Peering Service に対する接続機能
NAPT セッション(30,000 セッション〜)(※)	パブリック接続時のアドレス変換機能	
スタティック NAT (1 グローバル IP アドレス〜)(※)	パブリック接続時、クラウドからオンプレミスに対して通信する必要がある場合に静的なアドレスを提供	
ファイアウォール(50 万セッション〜)(※)	各ポートに仮想ファイアウォールを設置可能	

※クラウド接続ポート(パブリック)、NAPT セッション、スタティック NAT、ファイアウォールは 2022 年 10 月以降提供予定

■サービスイメージ



➤ 本サービスの詳細については、<https://www.ij.ad.jp/biz/smart-hub/> をご覧ください。

IIJ では今後も、多彩なネットワークサービスを組み合わせながら、お客様のクラウド利用を支援してまいります。

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 増田、荒井

TEL:03-5205-6310 FAX:03-5205-6377

E-mail:press@ij.ad.jp <https://www.ij.ad.jp/>

※ 本ニュースリリースに記載されている社名、製品名などは、各社の登録商標または商標です。